

■「公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）」実施結果（麻生区）

各グループの概要

※人数調整のため、1 グループはなくなり、2~7 グループにて実施した。

グループ	2	3	4
点数	200	100	205
前半の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・IT を推進しよう ・いくつになっても学がある ・子育ての 3 つを大事に 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミッションはクリアできているがこれでいいか？ ・バランスの良さ 多世代健康面 	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代、子育てしやすい →IT の活用 ・老朽化レベルの高いものはどうするか？
キヤッチフレーズ	学びの場は多世代のつどいの場	前世代も将来世代もいきいきくらせるよううまれかわるまち	IT を活用した複合コンパクトタウン
こだわったことなど	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの場→学校を守った IT 活用へのこだわり ・住宅地と中心をうまく繋いだ育児相談を残した ・仕方なくこ文、老人福祉センターの売却 ・多世代が交流すること、学校へ歩いていけることが大事 	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスよく残そう！ ・健康増進施設残す ・小学校を再建 ・区役所機能が半端に ・これからも使える余地を残した 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校を拠点に多世代交流 ・予算の削減 ・無駄を省いた ・多世代目指すが、三世代の施設は減少、中間居は難しい ・こ文は民間に託し更地にしてスポと老人福祉センターは民間に移行した

グループ	5	6	7
点数	120	70	135
前半の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすいがテーマだが意見分かれる ・老人福祉センターが更地に 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすいまちづくり ・IT の活用でカード減らす ・少子高齢化におけるお金ためる 	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代、教育の充実 ・シニア世代増加に向けていこいの家文化センターの統合などを検討
キヤッチフレーズ	コンパクトスマートタウン	みんなおいでよ！カワサキタウン ～オンラインにもリアルにも居場所がある心地よいまち～	赤ちゃんから高齢者まで安心して一生すみ分けられるまち
こだわったことなど	<ul style="list-style-type: none"> ・無駄を省いて集約したひとつつの施設でこども、老人が復活 ・子育てしやすさ→うまくいかなかった ・老人専用施設を見直した 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てにこだわったスポーツセンターを復活した ・オンライン、民間の力で→学校を運営 ・みんなでまちの運営 ・施設によって老人ばかりになった ・子育て施設利用は各世代の居心地の良さにこだわった 	<ul style="list-style-type: none"> ・いこいの家、こ文を統合 ・教育機能を残せた ・東災の仮設住宅の余地をつくった ・予算確保のために ・IT→リアルなコミュニケーションが減った人

「かわタウン」KAWASAKI TOWN

2023.11.10
南生田地区
(多世代)

(1)	2 200	3 100	4 205	5 120	6 70	7 135
前半 後半 合計	ITを活用しよう いい感じで豊かな社会 子育ての3つの柱。	みんなでつながる ITを活用して 老若無別でつながる と何が?	なぜか、昔の地図 → ITの活用 老若無別でつながる と何が?	子育て世代、介護者世代 老若無別でつながる なぜか、昔の地図 → ITの活用	子育て世代、介護者世代 老若無別でつながる なぜか、昔の地図 → ITの活用	なぜか、昔の地図 老若無別でつながる なぜか、昔の地図 → ITの活用
キャラクター グループ など	学びの場は多世代の つどいの場 みんなでつながる ITを活用しよう 豊かな社会 子育ての3つの柱 前半後半 しかし、今は、老若の差 多世代でつながること 学校へもつなげよう	全世代も将来世代も いきいきくらぶ ようつながる まち ITを活用して つながる タウン	ITを活用して つながる タウン	ITを活用して つながる タウン	ITを活用して つながる タウン	ITを活用して つながる タウン

各グループの概要書き出し

発表の記録

2 グループ



○ターン1を振り返ってみよう！ターン2からはどうする？

- ・最初に方針を考えることが大事
- ・中心地と住宅地は、方針・まちづくりで目指す方向性が違っても良いかもしれない

○こだわったこと・推しポイント

- ・学びの場→学校を守った（住宅地の学校が維持できない状況だったが、「子育てしやすい」「学びの場がたくさんある」ということを方針としたため、建て直して教育の場を再度導入した）
- ・IT活用（まちの方針として「ITによる効率化」を重視したので、1ターン目から導入した）
- ・住宅地と中心地をつないだ（IT活用を通じてつないだ）
- ・子どもの人口が減る一方で育児相談を残した（「子育てしやすい」ことを方針として立てたので、サービスは残した）

○課題・しかたなくやったこと

- ・子ども文化センターの売却
- ・学校を維持する為、老人福祉センターを売却

○初期配置から、どのように変化したか？

- ・図書館、市民館、スポーツセンター、学校が、多世代の交流の場となった
- ・気づき：小学校は歩いて行ける場所にあるため、身近な場所として今後は多世代の交流の場や居場所になっていくことに気づけた
- ・効率良く施設が使われている（空きスペースはゼロ、利用率も高い状況）

3 グループ



○ターン1を振り返ってみよう！ターン2からはどうする？

- ・老人福祉施設がオープンになって、サービスも拡充すると良い
- ・企業との連携をしていきたい
- ・運動施設、スポーツの場を拡充していきたい
- ・使い方を限られた予算で考えることが必要

○こだわったこと・推しポイント

- ・サービスをバランスよく配置できた
- ・健康増進施設（スポーツ運動）を充実させた
- ・小学校は再建
- ・老人福祉センターは建替えをして、仮想通貨で出かけたり、ワクワクドキドキ遊べたりするところになり、子ども、子育て世代も、高齢者、全世代が楽しめる施設に！

○課題・しかたなくやったこと

- ・区役所の機能削減
- ・こども文化センターの更地化

○初期配置から、どのように変化したか？

- ・こども文化センターが更地に
- ・第二小学校は再建
- ・老人福祉センター→レクリエーション施設に（ゲーム・仮想通貨・IT）

4 グループ



○ターン1を振り返ってみよう！ターン2からはどうする？

- ・予算と人の移動が難しかった。こどもが増えないし、成長がない
- ・ITを活用することにより、人や予算を減らすことができる
- ・魅力的なまちには図書館が必要
- ・廃止するなら老朽化レベルの高い施設から

○こだわったこと・推しポイント

- ・多世代交流（小学校を拠点）
- ・予算削減するためITを活用
- ・無駄なスペースを極力省いた

○課題・しかたなくやったこと

- ・子ども文化センターの活用は道なかば
- ・多世代交流を完成させることは難しい

○初期配置から、どのように変化したか？

- ・更地にして民間事業者に貸し出す

5 グループ



○ターン1を振り返ってみよう！ターン2からはどうする？

- ・子育てしやすい市にする
- ・子育てしやすい市と老人に優しい市というのが両立できたら良いと思う
- ・市民サービスとして必要なものを残しつつ、経費の効率化を考えるのは難しい

- ・自分が公共施設を利用しないで魅力やニーズがわからない
- ・(カワゾウさんとしての意見) 居場所づくりをする場所と人と知り合うきっかけが必要

○こだわったこと・推しポイント

- ・無駄を省いて集約した
- ・オンラインで窓口の効率化をすすめた
- ・子どもと老人が交流できる、同じ施設を使えるようにした

○課題・しかたなくやったこと

- ・子育てのための機能を持たせられなかった

○初期配置から、どのように変化したか？

- ・老人専用の施設がなくなった

6 グループ



○ターン1を振り返ってみよう！ターン2からはどうする？

- ・予算削減のやりくり
- ・違う施設でも同じ提供サービスがあったのが発見だった
- ・施設に限りがあるので難しい
- ・資金の削減まではスムーズ。発展させて新しいサービスを提供するのが難しい（効果はわかっていないとも）、利用者はいるので削減に勇気がいる
- ・施設ごとの役割が被っているところがある

○こだわったこと・推しポイント

- ・子育てしやすいまち
- ・スポーツセンターを活発に利用する
- ・オンライン化を進める
- ・民間活用（学校や建て替え）
- ・効率化
- ・きらっと問題解決カードの活用

○課題・しかたなくやったこと

- ・シニア世代がかたまる施設が多くなった
- ・働き、子育て世代がオンライン集中し、施設利用が減った

○初期配置から、どのように変化したか？

- ・いこいの家、区役所→シニア活用
- ・各世代の居場所は大切にした

7 グループ

※盤面写真なし

○ターン1を振り返ってみよう！ターン2からはどうする？

- ・シニア世代は動かしやすい。シニア世代の居場所が多いので、ここを変えると効率化やまちが活性化するかも
- ・元気なシニアに活躍してもらう
- ・IT活用したサービスと教育の充実
- ・カードの使い方を理解できていない、カードの使い方を理解する必要がある

○こだわったこと・推しポイント

- ・老人いこいの家、こども文化センターを統合して多世代にできた
- ・元々想定していたように、教育機能を残せた
- ・震災後の仮設住宅のために更地を確保した

○課題・しかたなくやったこと

- ・予算確保のために無理やりコマを動かした
- ・ITを活用したことでリアルなコミュニケーションが減った人がいる

○初期配置から、どのように変化したか？

- ・空き地が増えた